

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月7日

上場取引所 大

上場会社名 南総通運株式会社

コード番号 9034 URL <http://www.nanso.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 隆則

問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員管理部長 (氏名) 中嶋 清

TEL 0475-54-3581

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	7,847	△7.7	879	0.8	806	4.5	419	△3.2
22年3月期第3四半期	8,498	△18.9	872	△21.0	771	△21.2	433	△22.1

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	84.18	—
22年3月期第3四半期	86.94	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	25,016	12,176	12,176	11,811	48.7	2,442.85
22年3月期	25,018	11,811	11,811	—	47.2	2,367.22

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 12,176百万円 22年3月期 11,811百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	—	—	10.00	10.00
23年3月期	—	—	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収入		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,751	△10.7	829	△22.4	728	△22.3	406	6.2	81.53

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.2「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 5,000,000株 22年3月期 5,000,000株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 15,333株 22年3月期 10,512株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 4,988,122株 22年3月期3Q 4,990,241株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	2
(1) 重要な子会社の異動の概要	2
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法の変更の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
【第3四半期連結累計期間】	
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（1）連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間におけるわが国の経済は、米国及び中国経済の減速懸念や欧州諸国の財政危機問題等を背景に、急激な円高及びデフレの進行などによる景気回復への影響が懸念される中、中国を中心とする輸出の増加や景気対策効果による一時的な耐久材消費の伸びはあったものの、依然として先行き不透明感を払拭できない状態で推移しました。

物流業界におきましては、中国などアジア関連の国際貨物輸送に持ち直しの動きが見られましたが、長引く景気低迷による企業の生産調整や設備投資及び個人消費の回復が遅れていることなどから、国内貨物輸送量は引続き減少傾向となりました。また、原油価格は再上昇の動きを見せ、激化する企業間競争や顧客のコスト削減による低運賃・低価格化とあいまって、引続き厳しい環境でありました。

このような経営環境の下で当社グループは、お客様の立場に立ったより良い物流サービスを提案、提供し、既存顧客との取引拡大と新規顧客の開拓を積極的に推進するとともに、コスト削減のため輸送の効率化と経費節減にも積極的に取組んでまいりました。

この結果、長引く景気低迷による既存顧客の物流量減少や、不動産稼働率の低下及び一部子会社労働者派遣事業における主力顧客契約終了などが影響しましたが、昨年夏の猛暑及び残暑による清涼飲料水関連が好調だったこと等により、当第3四半期連結累計期間の営業収入は78億4千7百万円（前年同四半期比7.7%減）、営業利益は8億7千9百万円（前年同四半期比0.8%増）、経常利益は8億6百万円（前年同四半期比4.5%増）、四半期純利益は4億1千9百万円（前年同四半期比3.2%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて9.5%増加し、4,025百万円となりました。これは、現金及び預金が235百万円増加したこと、受取手形及び営業未収金が139百万円増加したこと及びその他流動資産が25百万円減少したことが要因であります。固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.6%減少し、20,991百万円となりました。これは有形固定資産が329百万円減少したことが要因であり、資産減価償却によるものであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末と同水準となり、25,016百万円になりました。

（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて2.2%増加し、5,276百万円となりました。これは、短期借入金が252百万円増加したこと、一年内返済予定長借入金が122百万円減少したこと及び賞与引当金が86百万円減少したことが要因であります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて6.0%減少し、7,563百万円となりました。これは長期借入金が519百万円減少したことが要因であり、返済による減少であります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて367百万円減少し12,839百万円になりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて3.1%増加し、12,176百万円となりました。これは、主に利益剰余金が369百万円増加したことなどによります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

通期の業績予想につきましては、今後の景気動向は依然不透明であり、不確定要素が多いことから、平成22年5月14日発表の通期連結業績予想について変更はありません。

2. その他の情報

（1）重要な子会社の異動の概要（連結の範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

《簡便な会計処理》

①固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の年度中の取得等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法によっております。

②法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測などを利用する方法によっております。

《特有の会計処理》

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

①「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益は930千円、税金等調整前四半期純利益は4,883千円減少しております。

②表示方法の変更

（四半期連結損益計算書関係）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用に伴い、当第1四半期連結累計期間より、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,414,406	2,179,383
受取手形及び営業未収金	1,427,223	1,287,763
その他	188,410	214,025
貸倒引当金	△4,860	△5,997
流動資産合計	4,025,179	3,675,173
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,778,815	7,074,676
土地	12,921,000	12,902,821
その他（純額）	321,547	373,547
有形固定資産合計	20,021,363	20,351,044
無形固定資産	101,170	120,834
投資その他の資産		
投資有価証券	197,051	201,250
繰延税金資産	500,322	498,624
その他	194,402	196,334
貸倒引当金	△22,818	△24,486
投資その他の資産合計	868,957	871,723
固定資産合計	20,991,491	21,343,602
資産合計	25,016,671	25,018,775
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	494,899	420,830
短期借入金	3,027,930	2,775,180
1年内返済予定の長期借入金	756,808	879,717
未払法人税等	177,235	156,341
賞与引当金	60,278	146,802
役員賞与引当金	11,512	19,150
その他	747,630	764,803
流動負債合計	5,276,293	5,162,824
固定負債		
長期借入金	6,150,452	6,669,899
退職給付引当金	382,586	367,248
役員退職慰労引当金	241,570	223,760
その他	788,847	783,712
固定負債合計	7,563,455	8,044,620
負債合計	12,839,749	13,207,444

（単位：千円）

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	538,500	538,500
資本剰余金	497,585	497,585
利益剰余金	11,123,795	10,753,809
自己株式	△10,871	△8,559
株主資本合計	12,149,009	11,781,335
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	27,799	29,884
評価・換算差額等合計	27,799	29,884
少数株主持分	113	111
純資産合計	12,176,921	11,811,331
負債純資産合計	25,016,671	25,018,775

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業収入	8,498,499	7,847,589
営業支出	7,181,722	6,526,549
営業総利益	1,316,776	1,321,040
一般管理費		
役員報酬及び給料手当	218,300	216,704
賞与引当金繰入額	4,810	5,600
役員賞与引当金繰入額	15,312	11,512
役員退職慰労引当金繰入額	18,235	17,810
その他	187,651	190,259
一般管理費合計	444,310	441,886
営業利益	872,465	879,154
営業外収益		
受取利息	2,706	1,684
保険配当金	6,537	7,697
助成金収入	17,411	20,617
その他	13,581	18,717
営業外収益合計	40,237	48,717
営業外費用		
支払利息	140,769	121,301
その他	340	147
営業外費用合計	141,109	121,448
経常利益	771,593	806,422
特別利益		
貸倒引当戻入額	598	1,405
特別利益合計	598	1,405
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,844
ゴルフ会員権評価損	—	125
固定資産除売却損	1,236	711
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	3,953
損害賠償金	—	13,261
特別損失合計	1,236	20,895
税金等調整前四半期純利益	770,955	786,932
法人税、住民税及び事業税	269,089	327,655
法人税等調整額	67,993	39,393
法人税等合計	337,082	367,048
少数株主損益調整前四半期純利益	—	419,884
少数株主利益	1	3
四半期純利益	433,871	419,881

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年12月31日)

該当事項はありません。